

第9回 理事会

日 時：令和4年12月21日(水) 9:00~12:00

場 所：学会事務局(Web会議併用)

出席者：長田会長(議長)、清水副会長、北田副会長、
末永常務理事、池見、稲垣、太田、大谷、大津、
小俣、笠、西山、長谷川(信)、平野、升元、
三田村、三好、村上、和田 各理事、野村、
緒方各監事

欠席者：佐々木、竹村、徳永、長谷川(淳)、林、
船山各理事
(理事25名中18名出席(過半数)により理事会は成立)

陪席者：熊谷(事務局)

議事内容：

1. 前回議事録の確認

- ・令和4年11月24日開催の令和4年度第8回理事会の議事録案について、承認した。

2. 審議事項

1) 会員状況の確認

- ・事務局長から12月21日時点における会員状況について説明があり、6名の入会を承認した。
- ・12月21日現在、正会員1,832名、学生会員50名、名誉会員65名となり、総数は1,947名であることを確認した。また、定期購読会員の入会が1件、退会が1件あることを確認した。

2) 委員の新任について

- ・研究企画委員会の1名の委員の新任について承認した。

3) ダイバーシティ委員会(仮称)の所属部門について

- ・常務理事より説明があり、議論の結果、令和5年度常置委員会に改組するダイバーシティ委員会(仮称)について、研究教育部門に属することを承認した。
- ・今後、関連する規則・規程類について改定を行っていくことを確認した。

4) 支部運営規程の改定について

- ・常務理事より説明があり、審議の結果、支部運営規程を改定することについて承認した。

5) 共催・協賛・後援等の依頼の応諾に関する規程の制定について

- ・常務理事より説明があり、審議の結果、一部修正の上、規程を制定することを承認した。
- ・第2条に「この法人」と「本学会」が混在しているため修正を加えること、第5条①項に本学会から発出する応諾文書に協力内容を明文化すること、②項に本学会が他団体に共催・協賛・後援等を依頼する事項を明示することは、提出時期を指定することなどに違和感があるため条文の明記する箇所を含めて修正を加えることの指摘があり、対応することと

なった。

3. 本部からの報告事項

1) 収支状況

- ・事務局長より説明がなされ、令和4年9~11月の収支について、概ね例年通りの状況であることが確認された。今年度発刊された「土砂災害の疑問55」の販売部数について確認した。
- ・事務局長より、今年度研究発表会の収支報告がなされた。今回、賛助会員以外から企業ブースが2件出されたが、今後も続くようであれば賛助会員に勧誘してはどうかとのコメントがあった。

2) 令和5年度総会・シンポジウムの準備状況について

- ・和田理事、末永常務理事より説明がなされ、シンポジウムはテーマがダイバーシティであり、現在、ダイバーシティ推進特別委員会以外に社会貢献と魅力発信に関する特別委員会、応用地質学教育普及委員会、応用地形学研究部会、災害地質研究部会、土木地質研究部会から講演の依頼に対して応諾されている状況が紹介された。また、総会・シンポジウムともハイブリッドで開催することを検討しており、事前にリハーサルを行うことの重要性が共有された。

3) 令和5年度研究発表会の準備状況について

- ・常務理事より説明がなされ、来年10月4~6日に開催される研究発表会、10月7日に開催される見学会の準備状況が紹介された。担当理事より、意見交換会と見学会の準備状況について補足説明があった。会場の経費については来年1~2月に提示される予定であることが報告された。意見交換会の会場は、現在検討されている会場の他にも候補があることが示され、今後それらも含めて検討していくこととなった。

4) ジオメリットポスターの写真・図版使用許可依頼について

- ・常務理事より説明がなされ、事務局長より、標記依頼が既になされたことが紹介された。

5) 男女共同参画に関するアンケート調査について

- ・常務理事より説明があり、期日までに事務局と連携して対応することとなった。

6) 日本工学会への対応について

- ・常務理事より説明があり、日本工学会理事に会長を推薦すること、日本工学会フェローには推薦を出さないこと、およびカーボンニュートラルに関する学協会連携についてのアンケートへの回答が確認された。

7) 日本地球惑星科学連合でのセッション提案について

- ・常務理事より説明がなされ、北田副会長(日本地球惑星科学連合プログラム委員)より、「応用地質学の

新展開」セッションは2023年5月23日(火)15:30～17:00に開催されることとなったことが報告された。

8)防災学術連携体のシンポジウムについて

- ・常務理事より説明がなされ、2023年4月18日開催予定のシンポジウム「気候変動がもたらす災害対策・防災研究の新展開」の内容、2023年9月17、18日にほうさいこくたい2023が開催されることが確認された。
- ・2023年4月18日のシンポジウムには、関連する災害地質研究部会長稲垣理事と環境地質研究部会長舩山理事で講演の提案内容を検討することとなった。

9)科学技術・学術審議会「次期観測研究計画」について

- ・常務理事より説明がなされ、「次期観測研究計画」に関連する災害地質研究部会と火山地域における応用地質学的諸問題に関する研究小委員会に意見照会を行っており、提出期日より前に意見集約の上、理事会に確認し、提出することとなった。

10)2023年度「深田研究助成」の公募について

- ・常務理事より説明がなされ、公募内容はホームページ・ニューズリストで周知することとなった。

11)日本学術会議第186回総会議事録について

- ・常務理事より説明がなされた。

12)他学協会からの依頼

- ・常務理事より、土層強度検査棒研究会からの転載許可申請について、総務委員会で承認したことが報告された。

4. 各委員会・支部・研究部会・小委員会からの報告事項

1)総務委員会

- ・12月14日開催の委員会議事録案が提出された。
- ・常務理事より、総務委員会内での協議事項として、功績賞選考対象者等に関する内規、著作権に関する規程、将来構想検討特別委員会からの要請への対応があることが紹介された。
- ・将来構想検討特別委員会からの要請に対して、非会員の入会の促進や会員(若手)の委員会・研究部会等への参加促進を依頼する対象として、賛助会員を対象としてはどうかといった意見や会員が多く所属する組織ではなく、委員会・部会を対象にしてはどうかといった意見があり、引き続き総務委員会で検討することとなった。

2)広報・情報委員会

- ・11月28日開催の委員会議事録案が提出された。
- ・担当理事より、現状で行われている議論として、ホームページ、CPD連絡会、Web会議トラブル事例集、他組織からの広報活動への要望、広報・情報委員会

での事業運営体制が挙げられることが紹介された。

- ・ホームページの刷新については、現状でマイナーチェンジを検討していることが紹介された。これに対して、必要に応じて予算を投入し、大規模にホームページを改修してはどうかとの意見が出された。

3)事業企画委員会

- ・12月9日開催の委員会議事録案が提出された。
- ・常務理事より、令和4年度フォトコンテスト、若手研究発表会アンケートのとりまとめ等を行っていることが紹介された。

4)研究企画委員会

- ・11月22日開催の委員会議事録案が提出された。
- ・担当理事より、現在対応している事項として先端技術ワークショップが挙げられ、「地形を見る表す技術の最先端」をテーマに、シンポジウムのCPDやホームページの準備を行っていること、今回も完全オンラインで実施する予定であること、委員所属団体に声掛けを行い多くの参加者を募る計画であることが紹介された。

5)北海道支部

- ・令和4年度活動報告が提出された。
- ・常務理事より、支部研究発表会には60名(道外5～6名を含む)の参加があり、盛況であったこと、現地見学会は壮瞥上久保内地すべりを対象として実施したこと、技術講習会は来年2月3日に実施されること、その他として、北海道自然災害史ワーキンググループの活動が2023年4月から第二期を迎えることが紹介された。
- ・「ジオ・フェスティバル in Sapporo 2022」で出展される「石英拾い」について、対象とする石英が特殊でなく全国どこでも採取できる一般的なものであれば、他支部あるいは本部に展開してはどうかとの意見が出された。

6)社会貢献と魅力発信に関する特別委員会

- ・12月14日開催の委員会議事録が提出された。
- ・常務理事より、議事内容として、IUGS(International Union of Geological Sciences)の世界地質遺産100、2023年度シンポジウム、支部におけるアウトリーチ活動が挙げられることが紹介された。

7)ダイバーシティ推進特別委員会

- ・担当理事より、12月21日にオンライン アース・サロンが開催されること、バーチャル空間「oVice」を用いることが紹介された。

8)教科書執筆特別委員会

- ・12月19日開催の委員会議事録が提出された。
- ・担当理事より、本特別委員会のミッションは教科書執筆のコーディネートであること、教科書の目次と

議論の内容が紹介された。

- ・次回理事会に教科書の目次の内容を示して頂きたいとの要望が出され、対応することとなった

5. その他

- ・太田理事より、昨年9月に開催された「第5回火山地域の応用地質と岩の力学に関する国際ワークショップ」の講演論文を取りまとめ、「Rock Mechanics and Engineering Geology in Volcanic Fields」という本が完成したことが報告された。
- ・清水副会長より、各支部において報告事項を議題に上げて頂きたいとの要望があった。報告事項は毎年作成する事業報告の形式で問題ないとのことであった。